

学生へのメッセージ 「医の道」

No.32 令和5年2月6日(月) 2023-2号

発行責任者: 神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校理事長、新須磨病院院長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 隔週月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊



◆さしあたる事のみぞ、ただ思え

さしあたる事のみぞただ思え
過去は及ばず
未来知られず

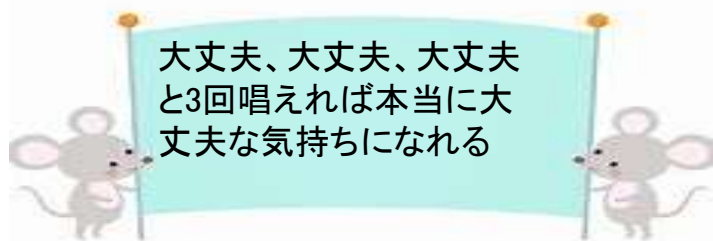
私のメンター中村天風の言葉です。天風さんは大正から昭和初期かけて活躍した哲人で、政財界に多くの教えを残しています。

この言葉の意味は、過去はいくら振り返って悔やんでもどうしようもない、またどうなるかわからない未来のことをくよくよ考えていても仕方がない、それよりもさしあたる当面の問題に向きあって解決していく事が大切であることを説いているのです。

国試前の3年生は特にこの言葉の意味を考え、さしあたる国試勉強に全力投入することが大切です。あと残りわずか、最後の最後まで粘りましょう。

◆念ずれば花ひらく 坂村真民

念ずれば
花ひらく
苦しいとき
母がいつも口にしていた
このことばを
わたしもいつのころからか
となえるようになった
そうしてそのたび
わたしの花がふしぎと
ひとつひとつ
ひらいていった



◆悩みの多い人

学生のみならず、教職員にも色々な悩みはあるようです。悩んだからといって、問題が解決するわけでもなく、堂々巡りに陥ることもあるでしょう。同じ環境にいながら、悩みの多少には差があるようです。どんな人に悩みが多いのか?と考えると、悩みの多い人は次のような人だということが分かります。

①人と自分を比べるひと

自分を敏感だと思っている人は、ただ単に自分がどう思われているかに敏感なだけだといえます。つまり、他人の視線に敏感だけです。鈍感力も時には必要です。

②昔のことを悔やむ人

タイムスリップはできません。いくら悔やんでもどうしようもありません。あきらめましょう。

③将来のとり越し苦労をする人

一時は流行ったノストラダムス大予言でも読んでみると、そのバカバカしさがよくわかります。

この三つの悩みをなくすだけで、気持ちはうんと楽になります。お釈迦様も言われています。

過去を追うな
未来を願うな
過去はすでに捨てられた
そして未来はまだやってこない
ただ今日なすべきことを熱心になせ



お釈迦様も天風さんもみんな同じことをいっているのです。

黙食にご協力ください



もくしよく
黙食

飛沫感染予防のため会話の際はマスクの着用を!